

三陸・大船渡第21回つばきまつり

ツバキの彩りで心豊かに

2月10日、世界の椿館・基石で、三陸・大船渡第21回つばきまつりが開幕しました。

開催式では、末崎保育園児による「末崎保育園七福神」が披露され、つばきまつりの開幕に花を添えました。来場者は、見頃を迎えた彩り豊かなツバキを満喫していました。

3月18日までの期間中には、ツバキにまつわる多彩なイベントが企画されています。



第42期棋聖戦七番勝負第4局

大船渡の地で注目の一番

2月15、16日、リアスホールで、囲碁の最高位タイトルの第42期棋聖戦七番勝負第4局が行われ、2度目の七冠を成し遂げ国民栄誉賞を受賞した井山裕太棋聖に、一力遼八段が勝負を挑みました。

棋聖戦の対局中には、プロ棋士による大盤解説が行われ、両棋士の熱戦を囲碁ファンなどが見守りました。対局の結果は、井山棋聖が4連勝でタイトルを防衛し、棋聖戦6連覇を果たしました。



(7) 広報大船渡 30.3.5(No.1122)

おおふなとクラフトワーク展2018

手作りの温かみに触れる



2月10、11日、リアスホールで、おおふなとクラフトワーク展2018が開催されました。

年々盛り上がりを見せているクラフトワーク展には、パッチワーク、ビーズ細工、木工芸、アクセサリーなどの手作り品を扱う出展者が参加し、作品展示や販売が行われました。また、体験教室では、ネックウォーマーやハーバリウムの出来映えに参加した子どもも大人も満足げの様子でした。

第1回市民活動まつり

より良い大船渡を目指し



2月18日、市内ショッピングセンターで第1回市民活動まつりが行われました。

初開催となる市民活動まつりは、市内で活動するNPO法人、ボランティア団体、市民団体などの活動を紹介し、皆さんに親しんでもらおうと市民活動支援センターが企画。人形劇などのステージ発表、活動を紹介するパネル展示などが行われ、来場者は見て、作って、楽しんでいました。

トピックス 1

災害時における廃棄物の処理等に関する協定調印式

1月29日、市役所で、岩手県産業廃棄物協会沿岸支部と本市との間で、「災害時における廃棄物の処理等に関する協定調印式」を行いました。

式では、新沼学支部長と戸田市長が、それぞれ協定書にサイン・押印。災害廃棄物の早期撤去や処理などに関して、連携・協力をさらに強化していくことを誓い合いました。

本協定は、東日本大震災の経験を踏まえ、災害発生時に市の要請を受けて、沿岸支部の会員事業所ががれきなどの災害廃棄物の撤去・収集・運搬・処分を行うものです。



①両者で連携し防災体制のさらなる強化を図っていくことを誓い合いました②協定書に署名する新沼学支部長と戸田市長



トピックス 2

NTTドコモグループ東北応援社員募金贈呈式

2月1日、市役所で、NTTドコモグループの社員の皆さんからの募金をいただきました。

東北応援社員募金は、同グループが行う東北復興支援施策の一環で、募金の趣旨に賛同する社員1人につき毎月311円集め、その募金総額に会社からの募金を上乗せし、寄付する取り組みです。

式では、株式会社ドコモCS東北岩手支店の藤森浩一支店長が戸田市長に目録を贈呈。寄付された募金は、市が整備する防災観光交流センター内で運営予定の子育て世代の憩いの場や、子どもの遊び場で使われる遊具などの購入に使用されます。

トピックス 3

藤沢市との災害時における相互応援に関する協定締結式

2月13日、市役所で、神奈川県藤沢市との災害時における相互応援に関する協定締結式を行いました。

式では、鈴木恒夫藤沢市長と戸田市長が協定書に署名し、災害時における相互応援の円滑化と、両市間の連携強化を確認し合いました。

この協定では、災害時、被災した市の要請に応じ、物資の提供や応援復旧活動に必要な職員の派遣などを定めています。また、式の前には本市の復興を祈念し、藤沢市内で緑化普及活動を実施している「藤沢市みどりいっぱい市民の会」による植樹が大船渡町で行われました。



①職員派遣などの支援活動を通じ友好関係を築いてきた藤沢市と本市②キャッセン®街区にニレの木を植樹